

動脈硬化症・認知症予防に関する縦断的疫学研究に参加された方・ご家族様へ

脳微小出血の有無における脳出血の臨床的特徴の探求

以前に動脈硬化症・認知症予防に関する縦断的疫学研究にご協力いただいた方々の調査票や MRI、血液情報を使って下記の研究をあらたに実施しています。

この研究は国立循環器病研究センター脳内科と共同で実施されるものであり、実施にあたり国立循環器病研究センター倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

近年、脳 MRI を撮像する機会が増えて、脳微小出血を検出できるようになりました。脳微小出血とは脳の毛細血管からの赤血球の漏出を反映し、将来の脳出血・脳梗塞の発症や認知機能の低下と関連があることが知られています。脳微小出血は脳出血の患者に多く見られますが、しかし、脳微小出血が無いにも関わらず、脳出血を発症する患者様もいらっしゃいます。脳微小出血の無い脳出血の患者様の背景については、十分に解明されておりません。本研究では、脳微小出血を有している方と有さない方を比較することにより、成因による脳出血の特徴の違いを明らかとして発症予防に向けたリスク因子を解明することを目的にしています。

研究の方法

・対象となる方について

2018 年 11 月から 2020 年 2 月に、動脈硬化症・認知症予防に関する縦断的疫学研究に参加された方

・研究期間： 研究許可日から 2026 年 12 月 31 日

・方法

動脈硬化症・認知症予防に関する縦断的疫学研究の方々の調査票データ、MRI、血液検査などを国立循環器病研究センター脳内科に入院した急性期脳出血で入院された患者様のデータと比較し解析を行います。

・研究に用いる試料・情報について

情報：年齢、性別、入院日、既往歴、内服薬、家族歴、生活歴、血液検査結果、画像検査(頭部 MRI)等

・外部への試料・情報の提供

国立循環器病センターへ調査票データ、MRI、血液の情報を送付し国立循環器病センターの情報とともに解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

・個人情報の取り扱いについて

動脈硬化症・認知症予防に関する縦断的疫学研究にご協力いただいた方々の調査票やMRI、血液の情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。ご協力いただいた方々と研究用の番号を結びつける対応表のファイルは京都府立医科大学で保管します。ファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表する場合にも、ご協力いただいた方々が特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究代表者（国立循環器病研究センター 脳神経内科部長 猪原 匡史）の責任の下、厳重な管理を行い、ご協力いただいた方々の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学地域保健医療疫学 助教 尾崎 悦子

国立循環器病研究センター脳神経内科 部長 猪原 匡史

研究代表（統括）者

国立循環器病研究センター脳神経内科 部長 猪原 匡史

お問い合わせ先

検診受診者の方のご希望があれば参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて検診受診者の方もしくは検診受診者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

国立循環器病研究センター 脳神経内科 医師 田中 智貴 電話：06-6170-1070

京都府立医科大学地域保健医療疫学 学内講師 尾崎 悦子 電話：075-251-5770